

船室について

- 全室シャワー・トイレ・冷蔵庫完備です。
- 船室は、上段ベッド付きとなる場合がございます。指定はお受けできません。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのお一人様利用は、ご旅行代金の200%となります。D1、D2は180%です。
- A1、A2、A3、A4、B、D1クラスは、洗浄機能付きトイレを完備しています。
- C1、G、I、Mクラスの1室申し込みは、洗浄機能付きトイレのオプション申込が可能です(有料)。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのフロアは、ソファベットとしてもご利用いただけます。
- A1、A2、A3、A4クラスは船室指定が可能です(船室指定後に旅行契約を解除される場合、船室指定取消料として旅行代金の5%を申し受けます。90日前以降は旅行条件記載の取消料に準じます)。
- 取得年齢前引もご利用ください(大人1名につき未成年1名無料(詳しくは弊社までお問い合わせください))。
- 相部屋申し込みのお客様はシャワー、トイレ、ロッカー、その他の設備は同室者で共有です。
- セミシングルタイプ、フレンドリータイプは、船室内をカーテンで区切り、プライベート空間を提供するコンパクトタイプです。
- 旅行開始時13歳未満(中学生を除く)のお子様連れでの相部屋申し込みはお受けできません。
- フレンドリータイプの船室は、2段ベッドの上下指定が可能です(有料)。ベッド下のスペースは同室者との共有です。

ビザ(査証)取得について

- クルーズに必要なビザ(査証)は、弊社にて取得手続きの代行をいたします。(有料)
- 参加いただくオプショナルツアーによっては、ビザ取得のための追加代金や追加書類をご提出いただく場合があります。
- 本パンフレット記載のビザ取得代金は日本国籍の方の代金です。日本国籍以外の方もお気軽にお問い合わせください。
- 米国入国には、ESTA(米国電子渡航認証システム)の事前取得が義務付けられています。(有料:40米ドル)
- 英国入国には、ETA(電子渡航認証)の事前取得が義務付けられています。(有料:20英ポンド)
- シェンゲン協定により、ご出発前のシェンゲン加盟国への旅行日数によって当クルーズにご参加いただけない場合がございます。
- 2026年より欧州渡航情報認証制度(ETIAS)の導入が予定されています。

海外旅行保険への加入が必須です

ご旅行中に疾病や事故などの事態に遭遇し、思いもよらない高額な治療費用や救護者費用などが発生した場合、法律上これらの費用は全てお客様個人の ご負担となります。このような事態に備えるため、旅行期間中のすべてがカバーされた海外旅行保険へ必ずご加入ください。海外旅行保険に加入されない場合、本旅行への参加をお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

旅行変更費用補償特約の同時加入をおすすめします

クルーズの取消料はご出発の90日前から発生しますので、ご自身はもとより、ご家族・ご親戚の病気・事故などでご旅行をキャンセルしなければならぬ場合に備えて「旅行変更費用補償特約」に加入することをおすすめします。

海外安全情報

外務省の治安に関する海外安全情報より下記の通り危険情報が発出されておりますが、現地手配会社、関係省庁、船代代理店などから最新情報を得て、当社が安全と確認しましたので本旅行を履行いたします。

「レベル1: 十分注意してください」

香港、コロンボ、ポートサイド、クリスタバル、カヤオ、イースター島

尚、現地の治安および感染症など海外の安全に関する情報は、お客様自身でも確認していただきますようお願いいたします。

旅行代金一覧(単位:円)

船室クラス	バルコニー/窓	フロア	※いずれも大人お一人様旅行代金です									
			ベア (2人部屋)	相部屋可	シングル (1人部屋)	セミシングル (2人相部屋)	フレンドリー (3~4人相部屋)					
オーナーズスイート		9-10	A1	15,050,000	—	—	—	—	—	—		
ベントハウススイート		8	A2	11,400,000	—	—	—	—	—	—		
プレミアムスイート		9-10	A3	9,890,000	—	—	—	—	—	—		
スイート	バルコニー付	8	A4	9,270,000	—	—	—	—	—	—		
ジュニアスイート		10	B	8,500,000	—	—	—	—	—	—		
バルコニーI		10-12	C1	5,980,000	○	I	11,362,000	—	—	—		
バルコニーII		9	C2	5,880,000	○	J	11,172,000	—	—	—		
アウトサイドワイド	窓あり	9-11	D1	5,080,000	○	—	—	—	—	—		
アウトサイドビュー		8	D2	4,980,000	○	—	—	—	—	—		
アウトサイドI		8	E	4,760,000	○	K	8,568,000	E2	4,860,000	—		
アウトサイドII		5-6	F	4,580,000	○	L	8,244,000	F2	4,680,000	F4	4名	3,664,000
スタンダードインサイドI	窓なし	8-11	G	3,600,000	○	M	6,480,000	G2	3,700,000	G3	3名	3,240,000
スタンダードインサイドII		5-6	H	3,480,000	○	N	6,264,000	H2	3,580,000	H4	4名	2,784,000

※フレンドリータイプは、出航時75歳未満のお客様限定です ※H4クラスのフロアは8-9Fとなります

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス (観光庁長官登録旅行業 第617号)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13
www.jpangrace.com

一般社団法人日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員

振込口座 口座名義はいずれも (株)ジャパングレイス	三菱UFJ銀行 高田馬場支店 普通 1211859	三井住友銀行 高田馬場支店 普通 9103604	みずほ銀行 高田馬場支店 普通 1991082
----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

Coordinated by ビースポート 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-01
TEL: 03-3363-7561 / FAX: 03-3363-7562 www.peaceboat.org

PHOTO: PEACEBOAT、上野隆文、片岡和志、水本俊也、汰木志保、吉田タイスケ、Stacy Hughes、ノーザングッド株式会社、Adobe Stock、shutterstock.com



2030年までに日本のクルーズ人口100万人の達成に向けたキャンペーンに参加しています。

旅行条件(要旨) - 詳しい旅行条件書をお渡しいたしますので、内容をご確認のうえお申し込みください -

本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

1. 募集型企画旅行契約

本旅行はINGOビースポートがコーディネートし、株式会社ジャパングレイス(以下「当社」といいます)が企画、実施する旅行です。本旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます)を締結することになります。

2. 旅行のお申し込み

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入のうえ、申込金として旅行代金の5%にあたる金額(別紙参照)を添えてお申し込みください。当社が申込金の受領確認が出来た時点で正式なお申し込みとなります。

3. 旅行代金に含まれるもの

①旅行日程に明記した船舶の運賃 ②船内宿泊(ご請求書に記載された船室クラス)、船内イベント(一部有料あり)の代金 ③明示した食事回数の料金 ④船舶による手荷物運送料金 ⑤添乗員の同行費

4. 旅行代金に含まれないもの (上記3項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を以下に列挙いたします。)
①オプショナルツアーの代金 ②船室クラス変更による追加代金 ③渡航手続費用(ビザ代・渡航手続代行手数料・予防接種料金等) ④船内のチップ ⑤ポートチャージ(港湾施設使用料等) ⑥国際観光旅客税 ⑦海外旅行保険料、電話代、飲み物代などの個人的費用 ⑧超過手荷物料金 ⑨ご自宅から発着地までの交通費・宿泊費・手荷物運送費 ⑩船舶のフェュエル(燃料) サーチージ ⑪船舶に課せられるEU-ETS・FuelEU Maritime・GPI 等、環境規制対応費(環境対応サーチージ) ⑫訪問する国や自治体等により課される環境保全税・観光税・オーパーツーリズム対策税

5. 旅行代金のお支払い

①旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日目に当たる日以降の当社定める日までに申込金を除いた旅行代金及び諸費用等をお支払いください。②お申込金は使用客船の貸切代金の一部に使用いたします。

6. 特別補償

当社はお客様が企画旅行中に、急激かつ偶然な外来の事故により被られた一定の損害についてあらかじめ定める額の補償金および見舞金を支払います。フリートラベルの期間は、特別補償規程第2条2項に定める乗手配りとなります。

7. 取消料

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。

	取消日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	91日前まで	無料
	90日前以降60日前まで	旅行代金の5%
	59日前以降29日前まで	旅行代金の50%
	28日前以降15日前まで	旅行代金の80%
	14日前以降	旅行代金の100%

本旅行の使用客船は貸切船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係る旅行代金の払い戻しはありません。

8. その他

①クルーズにご参加の場合は、海外旅行保険にご加入されることを必須といたします。②旅行条件に定めぬ事項は当社旅行業約款(募集型企画旅行契約の部)によります。なお、当社約款は当社ウェブサイトよりご覧いただけます。

このパンフレット記載内容は2026年4月10日を基準としています。

別添諸費用(単位:円)

※2026年4月10日現在の金額です

チップ合計	184,800
ポートチャージ合計	61,600
ビザ取得代金合計	19,000
国際観光旅客税	1,000

- 最少催行人員: 1,000名
- 船中泊
- 日本人添乗員が同行します
- 食事: 朝108回、昼107回、夕108回
- 医師、看護師が乗船します
- 使用客船: パシフィック・ワールド号(総トン数: 77,441トン/全長: 261.3メートル/全幅: 32.25メートル/喫水: 8.1メートル/乗客定員: 2,413名/運航会社: シーホークコーポレーションリミテッドイック)

お申し込み・ご相談は 0570-030-617

9:00~17:00(定休:土日祝)
連絡先はお客さまとなります

営業所のご案内

※来店の際はご予約をお願いします

【株】ジャパングレイス本社営業所
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13 マリンビル2F
TEL: 03-3267-3083 (24時間受付)
FAX: 03-3267-3083 (24時間受付)
総合旅行業務取扱管理者: 中瀬朋史・延原和正・本山誠 ※

※ 総合旅行業務取扱管理者は、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関するご質問や不明点があれば、ご連絡ください。総合旅行業務取扱管理者にお尋ねください。



【プライバシーポリシー】
株式会社ジャパングレイスでは、お客様からご提供いただく個人情報の取扱いについて、ウェブサイトにてご案内しております。
https://www.pbcruiase.jp/privacy/



PEACE BOAT VOYAGE 133

Aug 2029

ADRIATIC SEA, EUROPE & SOUTH PACIFIC

まだ見ぬ 感動に満ちた世界

オーロラシーズンのアイスランドへ

2029年8月出航

アドリア海・ヨーロッパ・南太平洋コース

横浜発着110日間

2029.8.20(月) - 12.7(金)

- Yokohama
- Hong Kong
- Singapore
- Colombo
- Port Said
- Santorini
- Piraeus
- Durres
- Bari
- Dubrovnik
- Tarragona
- Liverpool
- Reykjavik
- New York
- Cristobal
- Callao
- Easter Island
- Papeete
- Honolulu



パシフィック・ワールド号でゆく
ビースポート地球一周の船旅

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス

観光だけにとどまらない 地球のダイナミズムを体感する旅

— オーロラシーズンのアイスランドへ —

「地球一周の船旅 Voyage 133」は、天空の奇跡「オーロラ鑑賞」をめざす、ピースボートクルーズ屈指の人気コースです。最大の特徴は、天候に合わせて移動できる船旅ならではのメリットを活かした「動きながらのオーロラ鑑賞」。専門家の協力のもと、オーロラ出現率の高い「オーロラベルト」圏内を5日間にわたって航海します。一生に一度の絶景を追いかける“動く観測基地”としての旅をご体験ください。

さらに、アドリア海では3つの寄港地に訪問。「アドリア海の真珠」と称えられるドブロブニク（クロアチア）、南イタリアの歴史と文化を感じるパトリ（イタリア）、日本からは観光客がほとんど訪れない「欧州の秘境」アルバニアのドゥラス。それぞれに表情が違うアドリア海の魅力を存分にお楽しみください。

5千年前の文明を今に伝えるエジプト、独自のインカ文明が開いたペルー、巨石モアイが佇む「絶海の孤島」イースター島といった、人類が築き上げた英知の結晶と、惑星地球のダイナミズムを存分に体感する世界一周クルーズが、皆さまを待っています。

※オーロラ鑑賞は自然現象のため、気象条件などにより観測いただけない場合がございます。



2024年10月アイスランド沖ピースボート洋上で撮影

PEACE BOAT VOYAGE 133

COVER PHOTO

1	
2	3
4	
5	6
7	8
9	

- 1 洋上でオーロラ観測 (2024年10月撮影)
- 2 マテラ (イタリア)
- 3 マチュピチュ遺跡 (ペルー)
- 4 ドブロブニク旧市街 (クロアチア)
- 5 パトリ (イタリア)
- 6 アルペロベッロ (イタリア)
- 7 ペラトの街でのコマ (アルバニア)
- 8 オーロラが彩る夜空 (2024年10月撮影)
- 9 間欠泉 (アイスランド)

本パンフレット掲載の写真は、お客様にピースボートクルーズのイメージをお伝えするものであり、過去に使用した別の客船の写真も含んでおります。また、季節に関わりなく全て旅のイメージです。

01 PEACEFULNESS ICELAND

P4-9

オーロラシーズンのアイスランドへ

絶景に抱かれた島

平和と平等が息づく街

自然に、歴史に、社会に一

02 THE ADRIATIC SEA CRUISE

P10-15

アドリア海へ 美しい青を訪ねて

ドブロブニク旧市街 (クロアチア) / ドゥラス (アルバニア)

パトリ (イタリア) / マテラ・アルペロベッロ

03 VOYAGE TALK

P17

アヤ藍 (映画探検家)

水野蒼生 (SSW・作曲家・指揮者・クラシカルDJ)

04 RAPA NUI

P18-19

イースター島 | 音楽学校「トキ・ラバ・ヌイ」を訪ねて

05 DESTINATIONS & PORTS

P20-23

世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧

「世界一周」という特別な旅が、快適なものであるために

PEACEFULNESS ICELAND

オーロラが日常の風景に溶け込むアイスランドのんびりとした空気、それは単なる空の絶景ではありません。夜空を舞う光を見た瞬間、誰もが思わず足を止め、深い静寂を味わうといいます。

この静寂こそが、アイスランドの社会に平和を生み出している。そう信じられているように、自然がもたらす畏敬の念は、アイスランドのんびりと心にゆとりを育んできました。奇跡の光を見上げる夜、あなたもこの国に根づく平和の息吹を感じてみませんか。

2024年10月アイスランド沖ピースボート洋上で撮影

\\ オーロラ鑑賞を快適に //

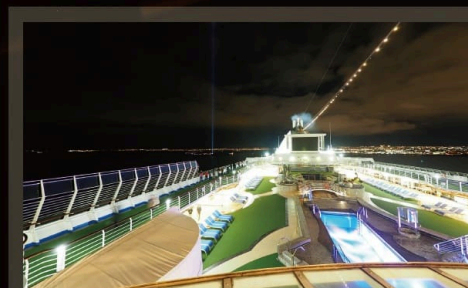
AMAZING AURORA

船の上からオーロラを見る特別な夜



連続5夜のオーロラ鑑賞チャンス

地球上でオーロラが最も頻繁に出現するのは、緯度が60~70度付近の「オーロラベルト」とよばれるエリアです。大西洋を横断するパンフィック・ワールド号は、このオーロラベルト圏内をアイスランドに向けて5日間にわたり航海します。



能動的なオーロラ観測が可能に

陸地でのオーロラツアーは定点観測が一般的であるため、天候の影響を受けることもしばしば。その点、船はフットワークが軽く、今曇っていても、30分後に晴れた場所へ移動することが可能です。



暖かな船内でオーロラ出現の待機ができる

周囲に街灯もなく、真っ暗な海上は360度を見渡せるため、どの方向にオーロラが出現しても観測できます。オーロラが出現したら船内放送でご案内しますので、暖かな船内でゆったりとお待ちいただけます。



夜だけではないオーロラ観測の楽しみ

船がオーロラベルト圏内を航行する際には、オーロラハンターや天体観測のスペシャリストが乗船し、オーロラにまつわる世界各地の神話や発生する仕組み、オーロラ撮影講座など、夜に備えたイベントを開催します。

ICELAND NATURE

絶景に抱かれた島

火と氷が創り出した壮大なキャンパス、アイスランド。地球の鼓動を間近で感じられる絶景スポットの数々は、訪れる人びとに圧倒的なスケールと深い感動を与えてくれます。



グトルフォスの滝

「黄金の滝」の名を持つアイスランド最大級の瀑布。氷河の雪解け水が轟音を立てて深い渓谷へ流れ落ちる大迫力のパノラマは、地球の力強いエネルギーを全身で体感させます。



シンクヴェトリル国立公園

大地の裂け目（ギャウ）があるこの場所。切り立つ岩壁の間を歩けば、壮大なスケールの中に身を置くような感覚に包まれます。静かな風景の中で、地球の営みを感じられます。



レイキヤネス半島

大西洋に突き出した半島には、溶岩台地や地熱地帯、荒々しい海岸線など、ダイナミックな自然が凝縮され、アイスランドらしい風景を楽しむことができるのも魅力です。



ロイヴェルホールズヘットリル溶岩洞窟

アイスランドを代表する溶岩トンネルのひとつ。内部には、静かで幻想的な空間が広がります。天井にできた穴から差し込む光が、洞窟内にやわらかな光の柱を生み出します。



ストロククル間欠泉

数分おきに地下深くから熱湯を空高く噴き上げる、まさに地球の鼓動そのもの。大地が力強く呼吸し、今も生きていることを全身で実感できる大迫力の間欠泉スポットです。



ケリズ火口湖

すり鉢状の火口跡に、エメラルドグリーンの水が溜まってできた美しい湖。赤い火山岩と緑の苔、鮮やかな水面が織りなす色彩のコントラストは、まさに自然の芸術品です。



シンクヴェトリル国立公園



ICELAND CITYSCAPE

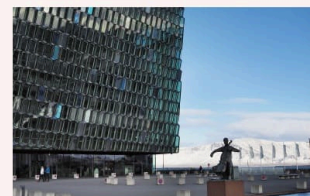
平和と平等が息づく街

武力ではなく対話を重んじ、誰もが自分らしく生きる社会を築いてきました。世界最北の首都レイキヤビクの街歩きで、暮らしに息づく寛容な精神と豊かな日常を体感しませんか。



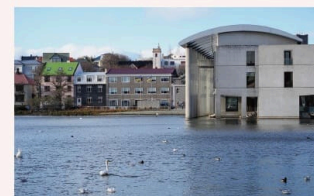
ハットルグリムス教会

アイスランドの自然である柱状節理をモチーフにした街の象徴。展望台から見える、まるでおもちゃ箱のような色鮮やかな街並みは、この国に暮らす人びとの多様な心のようです。



ハルバ・コンサートホール

氷の結晶を思わせる、近代的で美しいガラス建築。光を受けて万華鏡のように輝き、誰もが文化に親しめる開かれた空間として、海辺の風景に華やかな彩りを添えています。



チョルトニン湖と市庁舎

水鳥が羽を休める湖畔には、「名もなき官僚の像」などユニークな彫刻が点在します。自然に溶け込む市庁舎や芸術が見事に調和し、人びとの豊かな暮らしを映し出す風景です。



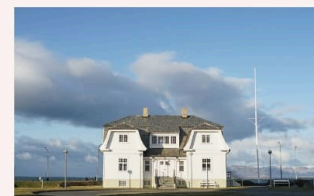
旧アルシング議事堂（国会議事堂）

巨大な城や宮殿を持たないアイスランドで19世紀に建てられた小さな石造りの建物です。武力に頼らず対話を重んじ、社会を築いてきた長い民主主義の歩みを今に伝えます。



レインボーストリート

お祭りの一時的な企画から始まった虹色の道が、誰もが自分らしく生きる社会を祝福する「永遠のシンボル」に。教会へと真っ直ぐのびる、多様性と寛容さを象徴する通りです。



ホフディ・ハウス

1986年に冷戦終結のきっかけとなった歴史的な米ソ首脳会談が開かれた海沿いの館です。武力ではなく首脳同士の対話によって世界の歴史を動かした、象徴的な舞台です。

SPECIAL INTERVIEW

特別インタビュー

フレイン・パウルソン 駐日アイスランド特命全権大使



自然に、歴史に、社会に— 連綿と受け継がれる 幸福のありかをアイスランドに探して

類まれなる自然とともに生きる環境先進国であり、数々の社会的取り組みによって世界をリードするアイスランド。力の強さや数の多さではなく、対話によって平和を希求し、誰もが安心して暮らせる社会をめざしてきたアイスランドから見えてくる、幸せのありかとは—駐日アイスランド大使のフレイン・パウルソン氏と、大使館スタッフのルーツ・エイナルスドットイル氏にお話を伺いました。

パウルソン氏：ピースポートクルーズの皆さまが、これまで何度も私の祖国を訪れてくださったこと。また、こうして私の口からアイスランドの社会的な取り組みをお伝えできることを、とてもうれしく思います。アイスランドは、世界経済フォーラムが発表するジェンダーギャップ指数が16年連続で1位。つまり、性別による格差がとてつもない国として国際社会に認められています。これにはさまざまな要因がありますが、政府が推進する取り組みの中でもっとも重要なのは育児休業制度だと思います。特に、男性では約9割が育児休業を取得しており、例えば皆さまがレイキャビクに寄港した際に街を歩く機会があれば、男性がベビーカーを押す姿を見ることがあるでしょう。私自身の経験からも、子どもたちが幼い時期に親として育児に関わったことは、決して手放したくない、かけがえのない時間でした。「人は死の床で、もっと仕事をしてあげよかったです」と決して思わない。むしろ、大切な人たちと時間を過ごしたかったと思うものだ」という古いジョークがあります。この育児休業制度は、まさにそのための時間を生み出すものだと思います。私の家庭にも3人の子どもがいます。学校への送りは私で、迎えるは妻。仕事から帰宅後は2人で一緒に子どもたちの宿題を見たり、シャワーの準備をしたりする。ジェンダー平等というと、女性が何かを「得る」問題として語られがちですが、長い間女性が担ってきた役割や経験に男性も関わる機会を得ているという点では、むしろ男性が「得ている」ものがあるといえますよね。

エイナルスドットイル氏：だからこそ、私たちは常に「ジェンダー平等はすべての人のためのものだ」と捉えています。現在のアイスランドでは、経済的な責任であれ、子育てや家事であれ、あらゆる役割がパートナー間で共有されるようになり、それが結果として幸せな社会をつくっているのです。

パウルソン氏：アイスランドは、世界の国や地域がどれだけ安心して暮らせる場所であるかを示す指標「世界平和度指数」でも、17年連続1位にランクインしています。アイスランドの人びとの日常生活や文化に根付く「平和の価値観」。それを、訪れた皆さまが実際に体感できる場が今も残っています。アイスランドはかつて、ノルウェーの支配やデンマークの植民地となることを選択した時代がありました。そうした状況下では国内に莫大な富が蓄積されることはなく、そのためアイスランドには「城」がありません。城壁はもちろん、宮殿もないのです。では、その代わりに何があったのか—これが、我々の持つ平和の価値観の礎にもなっている、アイスランドの国民議会「アルシング」です。アイスランドの観光名所である「ゴールデンサークル」。そのひとつに名を連ねるシンクヴェトリル国立公園は、かつてアルシングが開かれていた場所でした。各地域の代表者たちが毎年この地に集まり、対話を重ねながら自ら法律を定め、裁定を下していたのです。アルシングは西暦930年頃から植民地時代を経て、場所や形式を変えて現在に至るまで続く世界最古の議会であり、「集団として平和的に解決策を見いだす」文化が長い歴史の中で培われてきたのです。

エイナルスドットイル氏：アルシングが開かれていたシンクヴェトリルが、北米プレートとユーラシアプレートのふたつのプレートが存在する場所に位置しているというのも非常に象徴的です。大陸と大陸を繋ぐ場所であると同時に、対立する意見の間に橋を架け、対話をつないできた場であるともいえるでしょう。

エイナルスドットイル氏：アイスランド大使
フレイン・パウルソン
Freinn Pálsson

パウルソン氏：そして、皆さまにはぜひアイスランドの環境サステナビリティと平和の結びつきについても、直接的に体験していただきたいです。アイスランドは、電力のほぼ100%が地熱や水力でまかなわれている国。その地熱発電の活用例のひとつであるプールや温泉文化が、先日ユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。アイスランドでは人びとが習慣としてプールに行く文化があり、そこで自然と会話をし、議論を交わします。皆が水着姿で、皆が平等で、同じ目線で意見を交わすことができる—肩書を示すバッジや地位を象徴するものを身につけていなければ、そこにいるのはただのひとりの人間なのです。ですから、私たちはこうした場を通じて、環境と日常生活、そして平和な対話の文化を結び付けているのです。しかし、とても残念なことに、現在地球規模で問題となっている気候変動の影響は、アイスランドにも確実に現れています。たとえば私が子どもの頃、学校でアイスランドの地理を学んだ際に、「国内で最も大きな氷河を7つ覚えなさい」と教えられました。ところが今、私の子どもたちは6つ覚えればいい。なぜなら、そのうちのひとつはもう消えてしまったからです。これはとても悲しい現実で、その氷河が消滅した際には葬儀まで行われ、多くの人が悲しみに暮れました。地球は何世紀にもわたって気候変動を経験してきましたが、アイスランドではその変化があまりにも急速に起きているのです。

エイナルスドットイル氏：ですから、皆さまにはぜひ氷河を訪れてほしいと思います。それに、寄港するレイキャビクは市内から車でわずか15分走るだけで山があり、自然を楽しむことができます。都市のすぐそばに広がる、自然の静けさ。この静けさこそが、私たちの社会にある“平和さ”を支えるひとつの要素でもあるのです。

エイナルスドットイル氏：皆さまがアイスランドを訪れた際は、ほんの瞬間でも立ち止まることを大切にしてほしいです。それが大自然の中であろうと、プールや温泉であろうと、その場の空気を吸い、その感覚を全身で味わってほしいのです。旅をしていると、どうしても「すべてを見たい、体験したい」と気持ちが先へ先へと進んでしまいがちです。だからこそほんの短い休憩をとり、立ち止まり、ただ見るだけでなく「心で受け止める時間」をもってほしい。そうすることで、アイスランドという場所がより深く心に残るはずです。

パウルソン氏：さまざまな国を訪れ、異なる文化や環境を自らの目で体験すること。それは、世界をより広い視野で理解するために欠かせない体験であり、同時に、自分たちがどれほど恵まれた環境にいるのかを改めて知る機会にもなります。それを当たり前だと思わず、他者をより深く理解し、置かれている状況や困難に思いを寄せ、思いやりをもつ—ピースポートクルーズの旅が皆さまにとって実り多く、そして視野を大きく広げるものになることを心から願っています。



アイスランド大使
フレイン・パウルソン
Freinn Pálsson

2005年にアイスランド外務省へ入省後、上海総領事、モスクワ副大使、ワシントン首席公使など、国際外交の第一線でキャリアを積み、2025年7月より駐日アイスランド特命全権大使に就任。



アルシング前の広場 (2024年6月撮影)



大使館職員・外交官
ルーツ・エイナルスドットイル
Rut Einarsdóttir



THE ADRIATIC SEA CRUISE

アドリア海へ 美しい青を訪ねて

透明度の高い紺碧の海を囲むように、多様な文化が交差してきたアドリア海。この海域をゆく航路は、宝石のような街々と、時代ごとに異なる表情を見せる歴史の断片を繋ぐ旅でもあります。「アドリア海の真珠」と称えられる美しい古都ドブロブニク、古代遺跡と海辺のリゾートが調和する港町ドゥラス、そして南イタリアの陽光が降り注ぐ聖ニコラの街パーリ。かつて海洋交易で栄えた歴史が息づく港々を訪ね、波静かな海に刻まれた物語を紐解く旅が、ここから始まります。



アドリア海沿岸で輝く各都市の深い魅力をさらに詳しく知りたい方はこちら。



ドブロブニク（クロアチア）

ドブロブニクは、まさに堅牢な城壁に守られたひとつの芸術品。背後にそびえるスルジ山からは、群青の海に浮かぶ旧市街の全景を一望できます。海、山、そして人の営みが調和する比類なき景観こそ、この街が世界中を虜にする所以です。

DUBROVNIK Croatia

ドブロブニク (クロアチア)

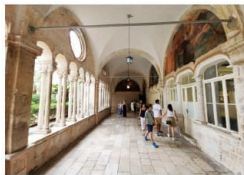
歴史が息づく、美しき旧市街

城壁に囲まれたオレンジ屋根の街並みが広がる旧市街。中世へタイムスリップしたような路地裏には、歴史の面影とともにここだけの出会いがあふれています。



城壁

旧市街を囲む全長約2kmの回廊。歩みを進めるごとに、橙瓦の街並みがサファイアのように輝く海とともに現れる、絶景の散歩道です。



マラ・ブラーチャ薬局

1317年創業。修道院に併設された薬局で欧州で3番目に古く、当時の調度品が並ぶ博物館は中世医学を今に伝える貴重な空間です。



ブラツァ通り

海峡を埋め立てて造られた旧市街のメイン通り。磨き上げられた石畳が光を反射し、商店やカフェが賑やかに旅人を迎えてくれます。



タコバーガー

人気店「Barba」の看板メニュー。タコの旨味を凝縮したパティと、漆黒のパンズが目を引く一品で、親しみやすい味わいです。



DUBROVNIK OLD TOWN

- 1: 城壁
- 2: マラ・ブラーチャ薬局
- 3: ブラツァ通り
- 4: タコバーガー
- 5: House of Nature Dubrovnik
- 6: マーケット
- 7: 街を潤す給水噴水
- 8: ショートクルーズ



DURRËS Albania

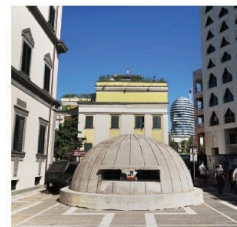
ドゥラス (アルバニア)

日本人の99.99%が未踏の秘境へ

欧米で人気沸騰中のアルバニア。世界が熱視線を送るリゾートでありながら、日本では未だ情報の空白地帯です。「真の秘境」の全貌を、地球一周の最高の思い出に刻みませんか。

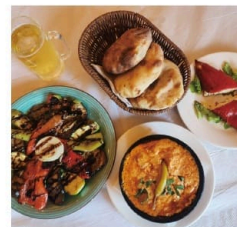
激動の歴史と発展の光にふれる

市民が憩う湖畔では穏やかな日常に溶け込み、地下要塞を転用した博物館「バンカート」で鎖国時代の近代史を体感。港町ドゥラスの海沿いではリゾートの活気が満ち、発展を続ける国の熱量を肌で感じることが出来ます。



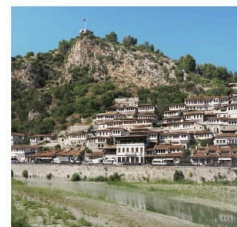
芳醇なエキゾチック・グルメ

イタリアと中東の食文化が融合したアルバニア料理。土鍋煮込みや肉詰めパブリカをはじめ、素材の旨味が詰まった郷土料理に代表され、オスマン時代の面影を残すコーヒー文化や伝統菓子など、未知の美食を堪能できます。



今も人びとが暮らす生きた遺産

白壁に無数の窓が並ぶ世界遺産ベラト。その頂に立つベラト城は、城壁内に今も住民が暮らす「生きた城塞」です。歴史の痕跡が残る路地裏に洗濯物が揺れ、店や家が並ぶ温かて時が止まったような不思議な情景に魅了されます。



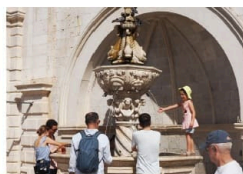
House of Nature Dubrovnik

家族経営で育てる蜂蜜やオリーブなど厳選した地元素材を用いる自然派コスメ店。こだわりの商品には土地の恵みが凝縮されています。



マーケット

この場所に並ぶのは、特産ラベンダーを用いた品々。紫色のポプリがずらりと並び、爽やかな香りが広場一帯を優しく包み込みます。



街を潤す給水噴水

環境保全に注力するこの街では、プラスチックごみ削減のため公共の噴水で給水可能。持続可能な観光を推進する象徴的な光景です。



ショートクルーズ

16世紀の帆船を再現したカラカ船で海へ。ロクムル島や斜面に広がる街並みを、洋上からパノラマで楽しむ贅沢な時間を楽しめます。
※天候により実施されない場合があります。

フェアトレードショップ「Deša (デシャ)」

ピースポートがオプショナルツアーで訪れたこともある旧市街のそばにあるフェアトレードショップ「Deša (デシャ)」は、伝統刺繍などの工芸品制作を通じ、女性の自立を支援しています。





MATERA

マテラ

岩の大地に刻まれた、世界遺産の洞窟住居

「奇跡」と称される岩の街・マテラ。7000年前から続く洞窟住居「サッシ」が崖一面に広がる景観は圧巻です。信仰と知恵が詰まった岩窟教会や伝統の味にふれ、人類の歩みを追体験する旅へ。



BARI Italy

バーリ (イタリア)

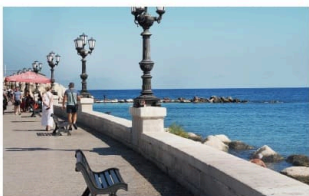
古都の鼓動、情熱あふれる南イタリアの港町

入り組んだ石畳の先に広がる白壁の旧市街。たなびく頭上の洗濯物や路地裏のバスタブくりなど、暮らしの光景や飾らない南イタリアの日常が、訪れる人を優しく迎えてくれます。



パスタ通り

軒下で「耳たぶ型パスタ」を打つマンマたちの姿が見られる名物通り。手際よくつくられ天日干しされる光景は、プーリア州の素朴な食文化と伝統を伝える、街の象徴的な風景です。



パンとトマトビーチ

市民に愛される開放的なビーチ。夏にはチェスを楽しんだり、ワインと軽食を囲んだりする地元の人びとで賑わいます。アドリア海を眺め、陽気なイタリアの夏を体感できます。



伝統的な陶器

温かみのあるデザインが特徴のプーリア陶器。風景を映したような鮮やかな色彩は、日用品から芸術品まで幅広く、土地の豊かな感性が宿っています。



崖の上からの風景

マテラを象徴する、息を呑むようなパノラマ。視界いっぱいに広がる無数の洞窟住居はまさに圧巻です。時が止まった「美しき廃墟」の情景が、訪れる人を幻想的な世界へと誘います。



鶏の置物 クク (Cucù)

マテラ伝統の素焼きの箱「クク」は、古くから魔除けや幸せをよぶお守りとして愛されてきました。職人の手仕事で光る、この街ならではの「アモーレ(愛)」があふれる工芸品です。



洞窟住居博物館

世界遺産マテラの歴史地区にある、かつて人がとが生活した洞窟住居「カーサ・グロッタ」。当時の家具や道具が並ぶ空間から、岩とともに生きてきた家族の力強い暮らしの記憶が伝わります。



マテラ料理

バジリカータ州の郷土料理を、趣ある洞窟レストランで。えんどう豆などの乾燥豆を野菜と煮込んだ素朴で滋味深いスープは、一口で心まで解きほぐすイタリアの温かな「家庭の味」です。



マテラパン「バーネ・ディ・マテラ」

IGP認証(地域特産品保護指定)を受けた名物「マテラパン」。硬質小麦の芳醇な香りと、独特な拳の形が目印です。外はカリッと、中はモチモチの食感、忘れられない逸品です。



マテラの光と影

7000年前から岩肌を掘り、隠遁生活を送ったキリスト教徒の「信仰と迫害の歴史」。その証である岩窟教会のフレスコ画が、今も世界遺産「奇跡の丘」の景観を形づくっています。



デリカテッセン

旧市街にある家族経営の食材店。地元のワインや生ハム、チーズが所狭しと並び、その場で味わうことも可能です。厳選された地産品から、イタリアの豊かな食の魅力を楽しめます。



郷土料理を楽しむ

米、ジャガイモ、ムール貝を重ねて焼いた「ティエラ」は、バーリを代表する家庭の味。素材の旨みが米に染み込んだ伝統の一皿、活気ある街のレストランで堪能できます。



ジェラート

イタリアを代表する幸せの味、ジェラート。真夏の陽光が降り注ぐバーリの街歩きには欠かせません。素材を活かした濃厚な味わいが、旅の疲れを優しく癒してくれます。



ALBEROBELLO

アルベロベッロ

おとぎの国、白い三角屋根の街

空に映える真っ白な壁と、円錐形の石積み屋根。南イタリアの陽光を浴びて輝く「トゥルッリ」が立ち並ぶ光景は、まるで童話の世界に入り込んだような不思議な高揚感を与えてくれます。1996年に世界文化遺産に登録されたこの街には、かつての住民が節税のために編み出した知恵が、今も大切に守り続けられる美しい景観としてそのまま残っています。

A Voyage to Experience the World...

世界一周 × あなたの夢の場所は？



歴史と今が交差する、
極上の時間。

Callao
カヤオ（ペルー）

VOYAGE TALK

—— 旅人が綴る風景 ——

アーヤ藍
Ai Ayah

映画探検家



「富めるほどに壁をつくる」を感じたペルー



治安がいい日本から旅をすると、大多数の国で普段より何倍も気を張って過ごすことになります。これまで20カ国以上訪れた中で、個人的に一番その緊張感が高かったのがペルーの首都リマです。現地出身の友人も「危ないから公共交通手段は基本使わない」と言い、レストランにはカバンを椅子に縛るチェーンが置かれている店もありました。ひとり道端でタクシーを拾ったら、運転手に「女性ひとりで立っていたら危ない」と叱られたことも。さらに中所得以上の住宅街では、家々が塙のような塙で囲まれ、道端に人の姿も見かけませんでした。

そんな「治安の悪さ」に疑問が浮かんだのが、貧困地域で女性たちに編み物を教える日本人の方の活動場所を訪れた時です。土と岩の一面茶色の丘陵の斜面に立ち並ぶ小さな家々は、良い住環境には見えません。貧困と連鎖するさまざまな問題があることも聞いています。でも、ここには中心街のような塙がありません。夕焼け空の下、子どもたちだけで元気にサッカーもしていました。リマを発つ前日に泊まった空港近くの宿も、経済水準が低い地域でした。一瞬身構えましたが、広場ではご近所の人たちが談笑し、すれ違った人が私に挨拶もしてくれました。でも、空港に降り立つ国内外の人の目にふれさせたくないかのように、空港とそのエリアの間には壁が建設されていました。

「治安が悪い」は一面では事実でしょう。でもその言葉に囚われると、見えなくなるものがあります。少なくとも私は「持っている」がゆえに、奪われぬようにと壁をつくる」ことで守られる治安の良さよりも、一見「治安が悪い」とされても、物理的にも心理的にも壁がない場所、人間らしさと安心感を感じたのです。



Profile

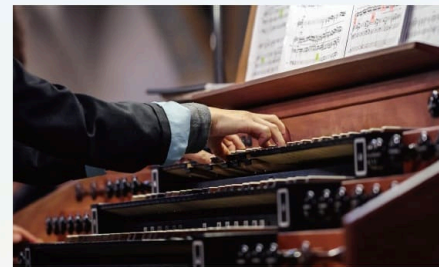
1990年生まれ、長野県育ち。慶應義塾大学総合政策学部卒業。在学中にアラビア語の研修で訪れたシリアが帰国直後に内戦状態になり、シリアのために何かしたいという思いから、社会問題をテーマにした映画配給宣伝を行うユニテッドビープル株式会社に入社。同社取締役副社長を務める。2018年に独立。「映画探検家」として、映画の配給・宣伝サポート、映画イベントの企画運営、雑誌・ウェブでのコラム執筆を行う。編著書に「世界を配給する人びと」。

水野蒼生
Aoi Mizuno

SSW・作曲家・
指揮者・クラシカルDJ



西洋文明の源流にふれる旅



僕はオーストリアに留学していた頃、異国にいるからこそ、自分自身のアイデンティティの変化を強く感じたことがあります。それは、ドイツ語の習得によってはじめて得られた音楽への理解です。ドイツ語話者だったベートーヴェンがつくった楽曲を、現地でドイツ語に親しんでから演奏したところ、まったく違う感覚を味わったのです。作曲家が話していた言語をちゃんと理解すると、今までどう解釈すればいいのかわからなかったフレーズをじっくり捉えられるようになり、自分の演奏はこんなにも変わるのだなど。このときの喜びは大きなものでした。

ヨーロッパでは、たとえばベートーヴェンやバッハ、ブラームスの「ドイツ三大B」とよばれる名作曲家の生家などを訪れると、彼らのルーツにふれられるかもしれない。けれど、その土地の音楽の源流を感じられる場所としておすすめしたいのは教会です。教会は街の中心にあることが多く、大都市の場合は大聖堂もあります。そこを訪れ、教会でパイプオルガンの音を聴くだけでも、継承されてきた音の重みと迫力ある音響に心が震え「これは神の声だな」と思えるほどの感動を味わえます。

また、西洋音楽のみならず、西洋文明の礎の趣を感じたいのであれば、ギリシャにも着目したいです。ギリシャの哲学者ピタゴラスは紀元前に音楽の音階をつくり、そこから派生して音楽理論は生まれました。そして、16世紀末にイタリアで起こった文化運動のルネサンスでは、ギリシャ悲劇を復活させた形としてオペラが誕生しました。僕は電車を乗り継いでギリシャのアテネに行き、円形劇場や神殿を見てまわったことがあります。西洋文明の始まりにふれられる場所を訪れ、当時の空気感に身をゆだねられたことは、とても得難い経験でした。

Profile

オーストリア国立ザルツブルク・モーツァルテウム大学の指揮専攻第一ディプロム（学部相当）を首席で卒業。2018年、歴史最古の名門音楽レーベル「ドイツ・グラモフォン」から史上初のクラシカルDJ（クラシック音楽専門のDJ）としてメジャーデビュー。指揮者としては、葉加瀬太郎氏のオーケストラツアーに帯同し全国を3度巡回。これまでにクラシック音楽を再定義する革新的アルバムを4枚発表し、2025年夏にはファーストEPアルバム『&fancy.』をリリース。

RAPA NUI

イースター島

「ラパ・ヌイ」とは、先住民族の言葉でこの島を指す呼び名です。

海に背を向け、島と人びとをそっと見守るように祭壇に佇むモアイ像の圧巻の姿。

その姿を一目見ようと、世界中から多くの旅人が海を越えて訪れます。

ピースボートクルーズでは、ここにしかない絶景に出会うだけでなく、歴史ある文化を

受け継ぎ、次世代へとつなぐ島の人びとの取り組みを訪ねて、この地へ寄港します。

音楽学校「トキ・ラパ・ヌイ」を訪ねて



ラパ・ヌイ唯一の音楽学校「Toki Rapa Nui (トキ・ラパ・ヌイ)」。ここに通う子どもたちは、西洋のクラシック音楽と伝統的なラパ・ヌイの音楽の両方を情熱を持って学んでいます。ここは単なる学校ではなく、島の文化を未来へつなぐ特別な場所です。Tokiを訪れることは、観光を超えて、地元の子どもの夢と未来を応援することにつながります。

公式ホームページ(英語)
<https://tokirapanui.org/en/>



ピースボートクルーズの
ゲストナビゲーターとしても乗船

ピアニスト/「トキ・ラパ・ヌイ」共同創設者
マハーニ・テアウエ Mahani Teave

イースター島出身で唯一のプロのクラシック・ピアニストであるマハーニさん。2026年1月に航海中のピースボートクルーズには、28日間にわたり乗船し、素晴らしい講演や演奏を届けてくれました。

彼女がTokiを設立した背景には、自身の原体験と故郷への深い愛情があります。彼女が幼い頃、島にはピアノも定住する指導者もおらず、本格的に音楽を学ぶために9歳で故郷を離れざるを得ませんでした。その後も、一時的に訪れる音楽教師が去るたびに子どもたちの夢が絶たれてしまう悲しい現実を目の当たりにします。島を離れることで高度な音楽教育を受けられた彼女は、「子どもたちが故郷を離れることなく、夢を追いかけられる場所をつくりたい」という強い使命感を抱き、この学校を創設したのです。

彼女を突き動かしたもうひとつの理由は、島が直面する深刻な環境問題と社会問題への危機感でした。海流に乗って世界中から押し寄せる大量のプラスチックゴミや、その処理の問題。彼女は外部からの支援をただ待つのではなく、自分たちの手で解決のモデルを示そうと決意します。そうして生まれたこの校舎は「アスニップ・バイオテクチャー」とよばれ、建設には島から出た6年分のリサイクル可能資源が使われている、完全自立型のサステナブルな建築です。

ここでは、学生たちが情熱を持って学ぶクラシック音楽とラパ・ヌイの伝統音楽の響きを実際に体験することができます。Tokiは、ラパ・ヌイの歴史や文化、島の人びとの生活や価値観を深く学ぶことができる場でもあります。音楽を通じた文化継承の最前線を訪れ、この素晴らしい文化と音楽の世界にぜひふれてみてください。



2026年1月 イースター島寄港 (Voyage122) にて

ラパ・ヌイ市役所観光官民協議会コーディネーターのフリオ・ラゴス・フケ氏をはじめ、国立公園管理組合の理事たちがピースボートの客船「パシフィック・ワールド号」を訪問しました。ノーベル平和センターと提携して船内で実施中の「ノーベル平和賞洋上特別展」などを視察いただき、世界をめぐる客船を通じた交流を深めました。

「世界のいま」を感じる 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧



香港
絶景にグルメ、見どころも満載。伝統と最新が交わる、まばゆい煌めきを放つ香港へ



**ギリシャ
ピレウス**
遺跡めぐりとともに楽しむ、世界的にも評価の高いヘルシーで奥深いギリシャ料理



**五夜連続の
オーロラチャンス**
天空に舞う光のファンタジー。漆黒の洋上で揺らめく、神秘的オーロラとの出逢い



**パナマ
クリストバル**
自然と生きる人びとが訪く、美しい仕事との出会い。色彩豊かなパナマの地を堪能する



**チリ
イースター島**
孤島のモアイ像たちが見つめる先には、深き青をたたえた海—謎多き“絶海の孤島”へ



シンガポール
多文化と近未来の共演。歩くたびに世界が変わる、刺激にあふれたアジア随一の都市



**アルバニア
ドゥラス**
手つかずの自然や歴史的な街並みが残る“欧州の秘境”。時代の変遷をたどる歴史探訪



**アイスランド
レイキャビク**
“火と氷の国”で出会う地球のダイナミズム。雄大な自然と歩み続ける極北の首都



パナマ運河通航
100年超の歴史を誇る、人類の叡智の結晶。世界の海運史を変えたパナマ運河を渡る



**タヒチ
パペーテ**
“南洋の楽園”を体現する美しい光景に包まれて一時間を忘れる極上のひととき



**スリランカ
コロンボ**
喧騒の街角に、密やかに佇む祈りの場。多様な文化が織りなすスリランカを堪能する



**イタリア
パレル**
南イタリアの陽光が誘う、旧市街でのタイムトリップ。近郊の世界遺産にも足をのびして



**米国
ニューヨーク**
トレンドも芸術もグルメも—世界中の人びとを魅了する。憧れの街ニューヨークへ



**ベルー
カヤオ**
世界遺産大国ベルーを舞台に歴史トラベルを。謎に包まれたマチュピチュの地をめざして



**米国
ホノルル [オアフ島]**
話題のグルメが自由自押し！常夏のリゾートアイランドで訪がれる夢のリラックスタイム



スエズ運河通航
船旅のロマンが薫る大運河の航行。アジアとヨーロッパの架け橋をゆく優雅な時間



**クロアチア
ドブロブニク**
宝石のごとく輝く美しい街並み。オレンジ屋根が迎える、アドリア海の城塞都市へ



**エジプト
ポートサイド**
エジプト文明が築いた数々の世界遺産。悠久のナイルが生んだ、ピラミッドと出逢う



**スペイン
タラゴナ**
世界遺産・タラゴナ古代遺跡をはじめ、歴史的見どころ多数の地中海の港町を楽しむ



**ギリシャ
サントリーニ島**
エーゲ海の陽光に照らされた青と白の絶景。絵になる光景に心奪われるサントリーニ島へ



**英国
リバプール**
ビートルズのサウンドが彩る世界遺産の街並み。伝統と革新に満ちた英国文化を楽しむ



パシフィック・ワールド号でゆくピースポート地球一周の船旅 2029年8月 Voyage133

横浜発着110日間 2029.8.20 (月) - 2029.12.7 (金)

日程	寄港地		
8.20 月	出航 午後	横浜	
8.25 土	入港 朝 出港 深夜	香港	
8.30 木	入港 朝 出港 深夜	シンガポール	
9.4 火	入港 午前 出港 夜	コロンボ	スリランカ
スエズ運河通航			
9.15 土	入港 午後	ポートサイド	エジプト
9.16 日	出港 深夜		
9.18 火	離泊 朝 発 夜	サントリーニ島	ギリシャ
9.19 水	入港 朝 出港 深夜	ピレウス	ギリシャ
9.21 金	入港 午前 出港 夜	ドゥラス	アルバニア
9.22 土	入港 午前 出港 夜	パレル	イタリア
9.23 日	入港 朝 出港 深夜	ドブロブニク	クロアチア
9.27 木	入港 朝 出港 深夜	タラゴナ	スペイン
10.3 水	入港 朝 出港 夜	リバプール	英国
10.5 金	1回目のオーロラチャンス		
10.6 土	2回目のオーロラチャンス		
10.7 日	3回目のオーロラチャンス		
10.8 月	4回目のオーロラチャンス		
	入港 朝 出港 夜	レイキャビク	アイスランド
10.9 火	5回目のオーロラチャンス		
10.16 火	入港 朝	ニューヨーク	米国
10.17 水	出港 深夜		
10.23 火	入港 午前	クリストバル	パナマ
10.24 水	出港 早朝		
パナマ運河通航			
10.29 月	入港 早朝		
10.30 火	停泊	カヤオ	ベルー
10.31 水	停泊		
11.1 木	出港 深夜		
11.8 木	離泊 朝 発 夜	イースター島	チリ
11.18 日	入港 朝 出港 夜	パペーテ	タヒチ
11.25 日	入港 午前	ホノルル [オアフ島]	米国
11.26 月	出港 夜		
12.7 金	帰港 午前	横浜	

※訪問地や航路は、天候や海況による船長判断、その他の理由により変更する場合があります。

OPTIONAL TOUR 旅をより充実したものに — オプションツアーでもっと楽しむ！

限られた時間を有効に使い、さまざまなスポットを訪れることができるオプションツアー。ふつうの旅行ではなかなか体験できない現地の人びととの交流や文化体験も、ピースポートクルーズならではの魅力です。1日かけてめぐるコースや短時間で気軽に参加できるショートコースのほか、船を一時下船し、通常の寄港地から離れた場所を訪れるオーバーランドツアーなどのプランをご用意しています。

オプションツアーの多彩な魅力をご紹介します！



街を歩き
名所を訪ねて

美しい街並みや一度は訪れたい名所をめぐりながら、芸術や文化、グルメなど、その土地ごとの魅力にふれるさまざまなツアーをご用意しています。



その地ならではの
文化にふれる

多彩な食を味わい、歴史や文化にふれ、現地の人びとと出会いながら、その土地に息づく魅力を感じる時間も。心に残るひとときをお過ごしください。

あなただけの
旅をかたちに

気になるお店に立ち寄り、カフェでひと息ついたり、その土地の日常や空気を感じるひとときを。自由に過ごす時間が、旅をいっそう豊かに彩ります。



出会いと発見に
満ちた時間を

街歩きはもちろん、ピースポートクルーズならではの交流や学びのツアーもご用意しています。この地ならではの時間をお楽しみください。



ご確認事項

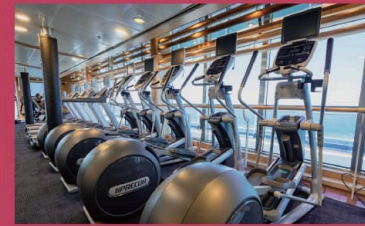
- 天候や現地事情の影響により、入出港日時の変更や港泊になる場合がございます。
- 本船が沖合に停泊し、テンドーボートなどを使用して上陸する寄港地では、気象条件によっては上陸できない場合がございます。
- この旅行は地球の遠隔地への航海であり、天災地変、政治状況の悪化、現地官憲の命令など、当社が関与し得ない事由が生じた場合、乗船客の安全を第一と考へ、また航海の安全を考慮し、お客様に事前にあるいは緊急の場合は変更後にお知らせし、旅行日程、旅行サービスの内容を変更する場合がございます。
- 航海日程は船長や船会社の判断によっても変更される場合があります。
- 上記のよう不可抗力による変更の場合でも、払い戻しは一切ございませんので予めご了承ください。
- 本パンフレット記載の寄港地に関する案内文および写真の一部は、オーバーランドツアー含むオプションツアー(有料)に参加された場合にはお楽しみいただける内容を含んでおります。
- オーバーランドツアーは寄港地で一時下船して別の港で再会するツアーです。
- 本パンフレットに掲載の写真は、お客様にピースポートクルーズのイメージをお伝えするものであり、過去に使用した別の客船で撮影された写真も含んでおります。また、季節に関わりなく全てのイメージです。
- ご自宅から集合・解散地等寄港までの交通費は含まれません。
- オーロラは自然現象のため、気象条件などにより観測いただけない場合がございます。
- イースター島では原則自由行動はできません。後日発表のオプションツアーにご参加ください。

0:00~	4:00~	6:00~	8:00~	12:00~	18:00~	23:00~
深夜	早朝	朝	午前	午後	夜	深夜

Why Travel by Cruise Ship?

「世界一周」という特別な旅が、快適なものであるために

2つのプールと3つのジャグジーを備えたプールデッキでは、海風を感じながらつるぎのひとときをお過ごしいただけます。専任トレーナーによるヨガレッスンやカルチャースクール、スポーツジムなど、身体を動かすアクティビティも充実し、健やかな船旅をサポートします。さらに、スパエリアやネイルサロン、美容室など、気軽にリフレッシュタイムをお楽しみいただける空間も整っています。心も体も解きほぐすひとときが、旅の日々をいっそう豊かに彩ります。



多様なニーズに合わせて選べる船室の数々

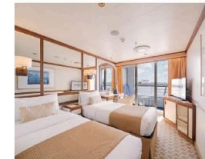


Pair Owner's Suite ペアオーナーズスイート

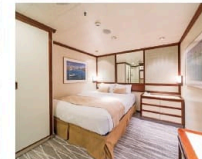


Pair Junior Suite
ペアジュニアスイート

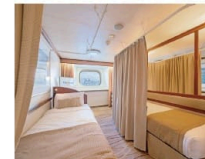
Pair Premium Suite
ペアプレミアムスイート



ベアバルコニー I



シングルスタンダードインサイド I・II



セミシングルアウトサイド I



フレンドリースタンダードインサイド II

Why Travel with PEACE BOAT?

「世界一周」という特別な旅が、サステナブルなものであるために

40年以上にわたり船旅を企画し、クルーズを成功させてきたピースボートクルーズは、これまでに培った経験を生かし、よりエシカル(倫理的)でサステナブルな旅を追求しています。地球環境への配慮はもちろん、寄港地で私たちを迎えてくれる国々や人びとの相互理解を深め、旅を通じてともに持続可能な未来を築くことをめざしています。



洋上レストランで、持続可能な水産物を提供

持続可能な漁業で漁獲され適切に管理されたMSC認証の水産物、認証済み養殖場から供給されたASC認証の水産物を積極的に取り入れ、持続可能な水産物への取り組みを選択することを心がけています。

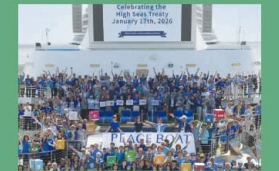
ノーベル平和センターと提携した常設展を開催

2025年4月、ピースボートとノルウェーのノーベル平和センターの提携により、ノーベル平和賞授賞式に合わせて更新される「ノーベル平和賞洋上特別展」がパンフィック・ワールド号に常設されています。



SDGs公式キャンペーン船として認定

国連とパートナーシップを結び、2015年に決議された「持続可能な開発のための目標(SDGs)」の公式キャンペーン船として認定され、船内や訪れる国々でSDGsに関連する取り組みを実施しています。



国連公海条約発効を記念し、洋上イベントを開催

2026年1月、歴史的な「国連公海条約」が発効されました。発効当日、公海を航行中だった船上では、専門家を招いた記念イベントを開催し、次世代へ豊かな海を築く決意を共有しました。



交流を続けながら、世界各地へ支援物資を

たくさんの物運べるという大型客船の特性を活かし、寄港地のニーズに合わせて支援物資を届けています。届ける物資は楽器や文房具、衣料品、スポーツ用品、衛生用品、車など、多岐にわたります。



各界の専門家ら 地球一周の旅をナビゲート

遠隔地への旅を通して知識を深め、現実的な社会問題や環境問題への意識を高めるきっかけとなり、それらを「自分ごと」として捉える視点や思考を育みます。